

25年度の秩父市の予算が決定

※3月定例会(2月22日から3月13日まで開催)では、25年度の各会計予算を含んだ市長提出議案46件のほか、議員提出議案6件、請願1件を審議しました。
※25年度の一般会計予算に関する質疑および討論の主な内容は下記のとおりです。

総務・建設関係の予算

市役所本庁舎等 建設工事

問 市役所本庁舎等建設工事設計業務委託料について。

答 代表企業枠と、市内企業枠となる佐藤総合計画と丸岡設計の特定設計共同企業体との設計業務委託契約を締結した。

問 内容は基本設計および実施設計の業務委託であり、委託期間は平成24・25年度の継続事業であり、市役所本庁舎等を合築により建設することで1億4836万5千円で契約。年度別経費として、24年度は4450万円、25年度は1億386万5千円である。

税 収

問 市税、固定資産税、都市計画税の減額は。

答 市民税の個人市民税は景気の低迷により、

平成24年度中の個人所得に伸びが見られないため、減額を見込んでいます。

また、法人市民税は、国税の法人税法の改正により、税率が引き下げられるため、法人市民税を減額とする。固定資産税は土地価格の下落に伴う土地に対する税額の減額、償却資産の新規取得が見込まない経済状況のため償却資産の対応年数経過による減額を見込んだものである。都市計画税についても固定資産税と同様の理由で減額である。

ミューズパーク 施設

問 スポーツの森公園関連施設、売上金収入2億円の内訳は。

答 コテージ部分1億8千万円、センターハウスの売店、F1ゴーカート施設等の売り上げから市の歳入として2千万円と見込んでいます。

問 赤字は約2億円なのか。

答 スポーツの森関連施設使用料が約2460万円、また、地方交付税の基準財政譲与額の理論上の算入額約6千万円が見込まれ、実質的な赤字は約1億円となる。

生活産業関係の予算

環 境

問 ちちぶエコタウン推進事業の多電源化・BDF発電機・太陽光発電の補助の詳細は。

答 てんぷら油をリサイクルして出来るバイオディーゼル燃料を使って発電するBDF発電機3台、30KWを導入し、元気村の電源を多様化し、夜間・休日でも無人で電力を供給できるように、多電源化の実証実験をするもの。

太陽光発電補助は、昨年引き続き市民や業者が太陽光発電を設置する際に補助金(1件10万円)前年度より150万円多い600万円を計上した。

問 薪ストーブの補助金の内容は。

答 埼玉県エコタウンイニシヤティブプロジェクトとして、秩父産木材の活用とバイオマスエネルギーの展開を進めるために、秩父

産木材の一層の利用拡大を図るため薪ストーブ等の購入および設置費用の2分の1を補助金とし上限は10万円を補助、300万円を計上した。

問 秩父産木材使用住宅補助金は。

答 秩父産木材を使用して市内に住宅を建築する者に補助金を支出するもので、補助要件は市内に住所を有する者または市内に住所を有する予定のもので、平成24年度において秩父産木材を使用して市内の工務店において建築・施工されるものとしている。補助金額は秩父産木材を5立方メートル以上使用する場合、1立方メートル2万円の補助で限度は50万円。

平成25年度はそれに対応した要綱の改正、郡内業者に広げるということ。積極的な周知の方法について検討していく。



(吉田総合支所3階)

文教福祉 関係の予算

医療費



昨年補助金を利用して設置された太陽光パネル

問 こども医療費等の窓口払い廃止によるメリット、デメリットは、

答 メリットとしては、市民観点では、原則、保険診療に係る医療費の窓口負担がなくなるため、小さな子ども抱える家庭等の医療費負担を軽減することができること。また、早めに診察が受けられるようになると思うので、症状の重い疾病の早期発見にもつながると考えている。デメリットとしては、市・医療機関の観点では安易な受診の増加で医療費が増える可能性があることや、医療機関が過度に混雑すること等が懸念されている。安易な受診を避けてもらうように周知していく。

市営馬場

問 移転先は羊山に決定したのか。

答 ミューズパーク内と羊山公園内が候補に挙がり、乗馬連盟との現地視察・協議を行い、また市当局内では企画調整会議に諮り、建設コストや観光誘客等を考慮し、羊山公園ふれあい牧場の隣地と決定した。

学校



3月定例会議の様子

問 学校教育推進事業の中の学校司書教諭補助員配置事業の内容は、

答 学校司書教諭補助員を小学校13校および中学校2校へ配置する予定。

予算は1808万6千円を計上。

問 いじめ・不登校対策充実事業補助金の内容は、

答 教育相談事業のさわやか相談員に対する助成金である。補助金の対象になる経費は、報酬等の22万7千4百円であり、中学校9校に10人の相談員を配置する予定。

文化財

問 小中学校費の非構造部材等耐震点検調査業務委託料の内容は、

答 大震災で天井および照明器具等の落下被害が生じたため、その対策として、市内の全小中学校の校舎や体育館等を専門家に診断してもらう費用である。

問 指定文化財民俗行事活動補助金の内容は、

答 指定文化財民俗行事活動補助金は、秩父祭、川瀬祭、白久の串人形芝居および荒川神明社の川瀬神幸祭の各保存会へ、活動費の補助として交付しているものである。合計1155万円を計上。



川瀬祭

討論

反対

厳しさを増す雇用情勢のもと、公的保育の需要が増大している現在、本予算は、働く母親の要求に應えるものとなっていない。最後のセーフティネットの生活保護費は、国、県費負担だ。厳しい社会情勢、高齢化のもとで対応できるか不安だ。ケースワーカー1人で国の基準を、大幅に超える担当者を抱えている。生活保護扶助費の増額とともに、ケースワーカーの増員も必要だと指摘し、反対する。

賛成

市役所本庁舎の建設資金を計上したにも係わらず、大幅な市債発行による財政規模維持の感覚は無く、国の財政のように約2分の1が借金という訳でもなく、コンパクトにまとめた予算編成と考える。市民の期待に應えるためには、今回の予算編成は妥当なものと考え賛成する。

反対

昨年の9月議会、12月議会と、小中学校普通教室へのエアコン設置を強く促す質問が出されている。昨今の気象条件や定住自立圏域で秩父市だけが設置をしていないこと、そしてなによりも子どもたちの健康が脅かされている(昨夏は体調不良による保健室休養が43件)ことから、25年度予算で普通教室へのエアコン設置の道筋をつけるべき。